

運用員(1/2)

1 仕事の内容

運用員は、主として艦船での洋上作業(洋上補給等)、船体の保存手入れ、結索(ロープワーク)、防火・防水作業に関する業務に従事します。海を愛し、艦船での洋上作業に興味のある人なら誰でもできる仕事です。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、攻撃要員として約1年間護衛艦等で勤務。その後、第1術科学校の海士運用課程(約5ヶ月)を経て、護衛艦の砲雷科運用員として艦艇勤務となります。

3 主な勤務地

運用員の勤務地は全国にあります。(航空部隊を除く。)

(1) 陸上部隊: 第1術科学校、各教育隊、港務隊

(2) 艦艇部隊: 護衛艦、練習艦、補給艦、敷設艦、輸送艦、掃海母艦、砕氷艦、海洋観測艦、音響測定艦、潜水艦救難艦、訓練支援艦、特務艦、試験艦



(洋上給油作業)



(サンドレッドを整理中)



(クレーン作業)

運用員(2/2)

4 取得可能な資格及び免許

1級小型船舶操縦士、玉掛け技能講習、クレーン操縦士、フォークリフト等

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
教育隊(練習員等課程)	護衛艦等 (砲雷科運用員)	第1術科学校 (海士運用課程)	護衛艦等 (砲雷科運用員)			教育隊(初任海曹課程)	護衛艦等 (砲雷科運用員)			

(運用員の一日の流れ)

- 停泊中
0745 帰艦(出勤)
0800(1200)仕事
1200(1300)昼食、休憩等
1300(1645)仕事
1730以降 上陸(退勤)
- 出港中
0600 起床
0615(0700)朝食
0800(1200)訓練等
1200(1300)昼食、休憩等
1300(1700)訓練等
…約3時間3直で艦橋で当直

6 先輩からの一言



「運用」という職種に進んだことで、補給艦に乗り組み、インド洋での補給支援活動の現場で活躍することができました。
「運用」は、女性にとってもやりがいのある職種ですよ。